

令和2年11月 鶺川ダム工事の様子

定点写真



ダムサイト 下流上空から望む



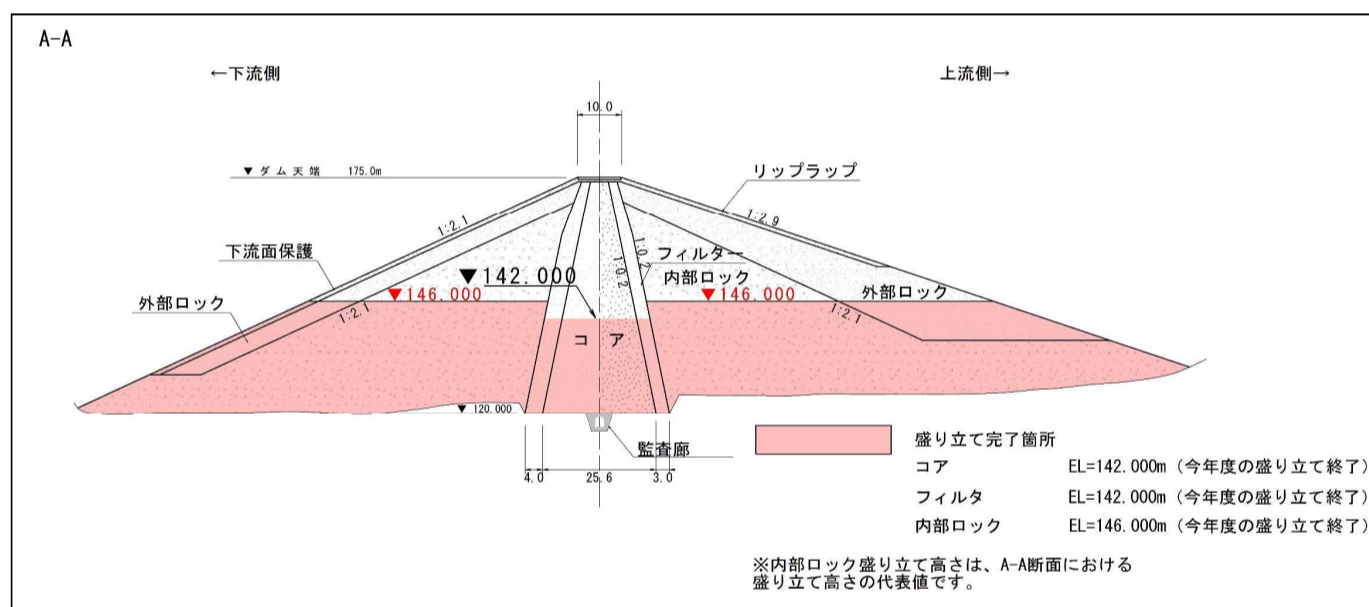
原石山を望む



洪水吐 下流上空から望む



左岸から堤体河床部を望む

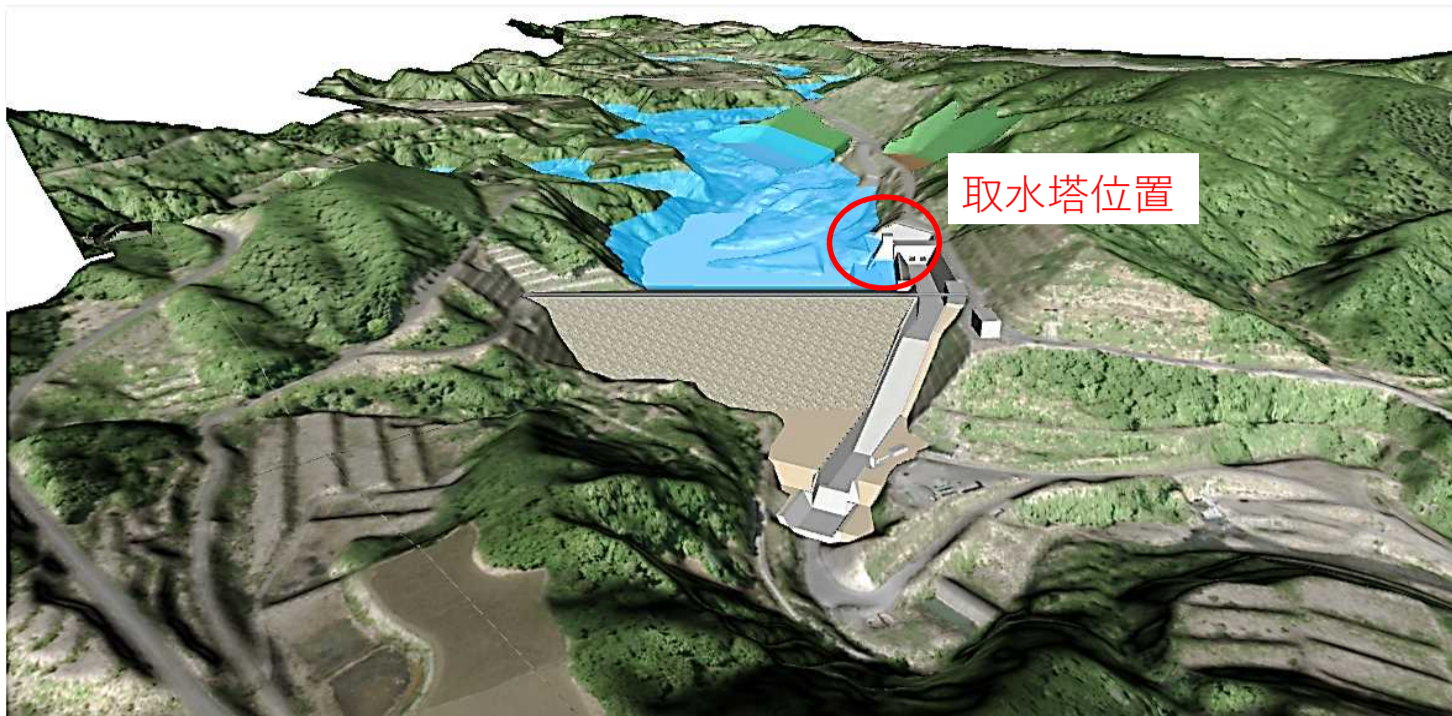


ダム断面図 (令和2年11月30日施工分まで)

今月のトピックス☆

～孔内水平載荷試験の紹介～

今回は、今後施工する取水塔の基礎地盤の強度を確認するために行った孔内水平載荷試験を紹介します。
尚、鶴川ダムの取水塔は、流水の正常な機能の維持（利水）等のための取水を行う施設です。



鶴川ダム完成予想図

【孔内水平載荷試験とは】

孔内水平載荷試験は、基礎地盤内を削孔してできたボーリング孔内において、孔壁をガス圧や油圧を利用して加圧し、そのときの圧力と孔壁の変位の関係から、地盤の変形係数、地盤反力係数、降伏圧力、極限圧力、静止土圧などの地盤の特性を求めるものです。

【試験方法】

1. エラストメータをボーリング孔の試験区間にセットし、ハンドポンプでゴムチューブに圧力をかけ、孔の中でゴムチューブを膨らませます。

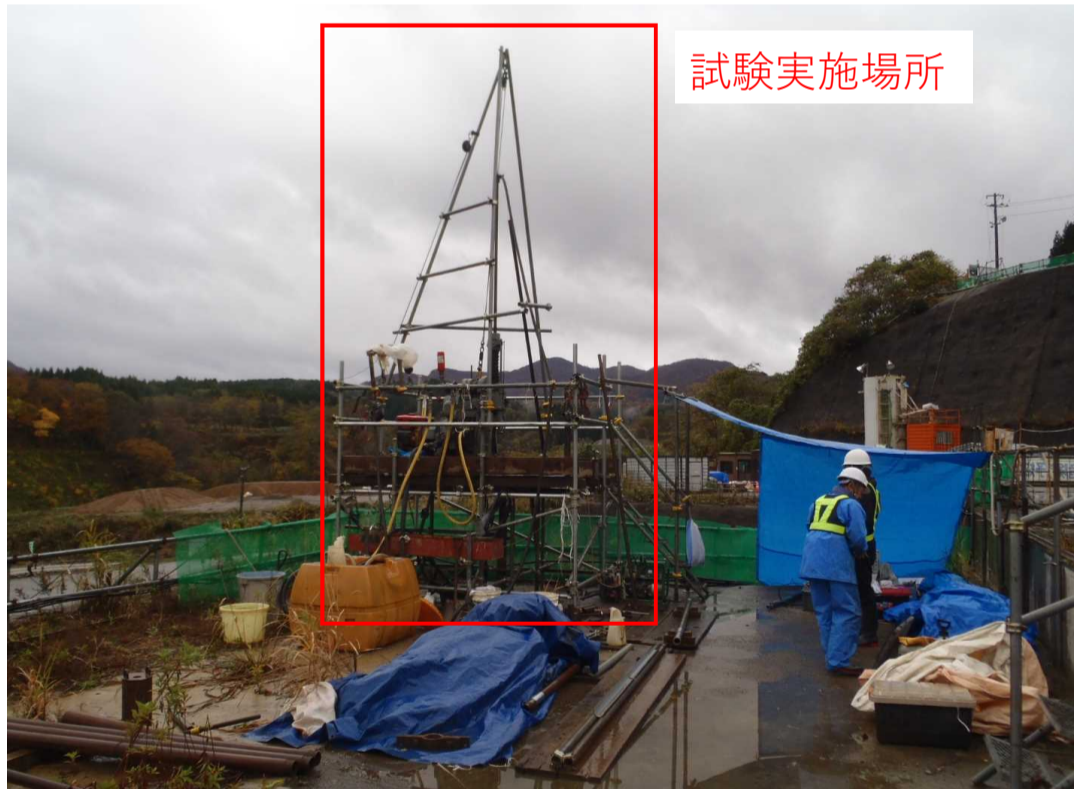
Ⓐ

Ⓑ

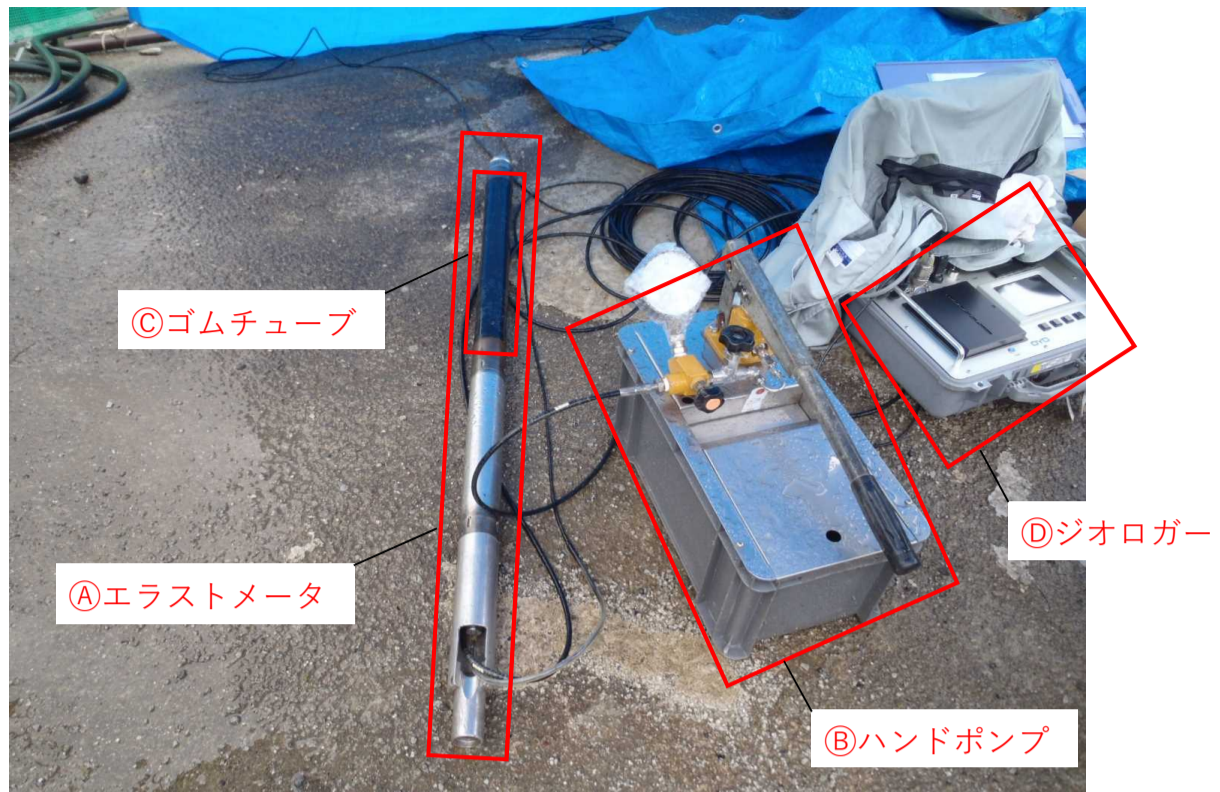
Ⓒ

2. 徐々に圧力をかけ、ゴムチューブの破断圧力に達する前に、ジオロガーで変形係数及び降伏圧を計測し、試験終了となります。

Ⓓ



ボーリング状況



試験器具



試験実施状況

おまけ

先月の話になりますが、秋は紅葉の季節ということもあり、鶴川ダム周辺でも美しい紅葉を見ることができました。現在は本格的な冬となりましたが、鶴川ダム周辺の紅葉の写真で11月の工事の様子を締めくりたいと思います。

